

安全データシート

改訂日: 2022年8月8日

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称
推奨用途
会社名
住所
電話番号

亜硫酸水素ナトリウム
試験研究用
米山薬品工業株式会社
大阪市中央区道修町2丁目3番11号
(06)6231-3555(大阪・本社)
(03)3246-2311(東京) (0268)22-5910(上田)
(052)504-2221(名古屋) (082)537-0290(広島)
AA1089

整理番号

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性

急性毒性(経口): 区分4
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性: 区分1
特定標的臓器毒性: 区分3(気道刺激性)
(単回ばく露)
水生環境有害性 短期(急性): 区分3
水生環境有害性 長期(慢性): 区分3

環境に対する有害性

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険有害性情報

危険
飲込むと有害(経口)
重篤な眼の損傷
呼吸器に刺激のおそれ
水生生物に有害
長期継続的影響によって水生生物に有害のおそれ

注意書き

【安全対策】
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
取り扱い後はよく手を洗うこと。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
環境への放出を避けること。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
【応急措置】
飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。気分が悪い時は、医師に連絡すること。
吸入した場合: 呼吸が困難な場合には、空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズをしていて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
気分が悪い場合ときは医師に連絡すること。
【保管】
換気のよい涼しい場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
施錠して保管すること。
【廃棄】
内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別

化学名

別名

化学式

化学物質を特定できる一般的な番号

混合物

亜硫酸水素ナトリウム

重亜硫酸ナトリウム

NaHSO₃[亜硫酸水素ナトリウム]・Na₂S₂O₅[二亜硫酸ナトリウム]

CAS RN: 7631-90-5[亜硫酸水素ナトリウム]

7781-57-4[二亜硫酸ナトリウム]

成分及び含有量

亜硫酸水素ナトリウムと二亜硫酸ナトリウムの混合物として100%
SO₂として求めた純度試験値58.5%以上

官報公示整理番号(化審法、安衛法)

(1)-502

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所へ移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

皮膚に付着した場合

多量の水と石鹼で洗うこと。

眼に入った場合

気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合

眼の刺激が続く場合: 医師に連絡すること。

口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候症状

気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

吸入: 咳、咽頭痛

5. 火災時の措置

適切な消火剤	水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類
使ってはならない消火剤	データなし。
特有の危険有害性	火災によって刺激性、毒性、又は腐食性のガスを発生するおそれがある危険でなければ火災区域から容器を移動する。
特有の消火方法	移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。
消火を行う者の保護	消火作業の際は、適切な空気呼吸器を含め完全な防護服(耐熱性)及び長靴を着用する。
6. 漏出時の措置	
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 関係者以外の立入りを禁止する。 作業者は適切な保護具(「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や粉じんやヒュームの吸入を避ける。 風上に留まる。 低地から離れる。 河川等に排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。 回収、中和 漏洩物を掃き集めて空容器に回収する。 封じ込め及び浄化の方法・機材: 危険でなければ漏れを止める。 二次災害の防止策: 床面に残るとする危険性があるため、こまめに処理する。
環境に対する注意事項	
封じ込め及び浄化の方法及び機材	
7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い	
技術的対策(局所排気、全体換気等)	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
安全取扱い注意事項	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。 屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。 接触、吸入又は飲み込んではいない。 眼との接触を避ける。 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
接触回避	「10. 安定性及び反応性」を参照。
衛生対策	取り扱い後はよく手と眼を洗うこと。
保管	この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
安全な保管条件	『10. 安定性及び反応性』を参照。 容器を密閉して冷暗所で保管する。 酸化剤から離して保管する。 炎及び熱表面から離して保管すること。 施錠して貯蔵すること。
安全な容器包装材料	ポリプロピレン、ポリエチレン
8. 暴露防止及び保護措置	
許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)	
管理濃度	未設定
日本産衛学会	未設定
ACGIH	TLV-TWA 5 mg/m ³
設備対策	この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。 作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置すること。
保護具	
呼吸用保護具	適切な呼吸器保護具を着用すること。
手の保護具	適切な保護手袋を着用すること。
眼の保護具	適切な眼の保護具を着用すること。
皮膚及び身体の保護具	適切な保護衣を着用すること。
9. 物理的及び化学的性質	
物理状態	結晶又は粉末
色	白色
臭い	亜硫酸ガス臭
融点/凝固点	該当情報なし。
沸点又は初留点及び沸点範囲	該当情報なし。
燃焼性	該当情報なし。
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	該当情報なし。
引火点	該当情報なし。
自然発火温度	該当情報なし。
分解温度	該当情報なし。
pH	水溶液は酸性
動粘性率(粘度)	該当情報なし。
溶解度	水に易溶
n-オクタノール/水分分配係数	該当情報なし。
蒸気圧	該当情報なし。
密度及び/又は相対密度	該当情報なし。
相対ガス密度	該当情報なし。
蒸発速度	該当情報なし。
10. 安定性及び反応性	
反応性、化学的安定性	常温空気中では徐々にSO ₂ を放出し、酸化されて硫酸ナトリウムになる。 加熱により分解し、酸化ナトリウム及び二酸化硫黄の有毒ガスを発生する

危険有害反応可能性	酸化剤と激しく反応し発熱する。 鉍酸類と接触すると有害な亜硫酸ガスを発生する。 酸、ハロゲンとは反応性が大きい。 アルデヒドと付加物をつくる。この付加物は、希酸、希アルカリでアルデヒドを再生する。
避けるべき条件	日光、熱、接触危険物質との接触
混触危険物質	酸、ハロゲン、酸化剤、鉍酸類
危険有害な分解生成物	加熱により分解して酸化ナトリウム及び二酸化硫黄を生成する。
11. 有害性情報	
急性毒性	経口 : ラット経口LD50値はNaHSO ₃ : 1310mg/kg(平均値)、Na ₂ S ₂ O ₅ : 1,540 mg/kgでありいずれも区分4の為、本製品は区分4とした。 いずれの成分も十分なデータがなく分類できない。
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	NaHSO ₃ はACGIHにおいて軽度の眼と呼吸器への反応が報告されているとの記載があり区分2に分類できる。Na ₂ S ₂ O ₅ ではSIDSにおいてウサギを用いた眼刺激性/腐食性試験で「刺激性、眼に重篤な損傷の危険性」と結論付けており区分1と分類できる。本製品は重い方の区分1とした。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	いずれの成分も十分なデータがなく分類できない。
呼吸器感受性又は皮膚感受性	呼吸器 : 皮膚 : いずれの成分も十分なデータがなく分類できない。
生殖細胞変異原性	各成分は区分外とするデータがある又は十分なデータがない為、本製品は分類できない。
発がん性	亜硫酸塩としてIARCでクラス3、ACGIHでA4としていることから区分外とした。
生殖毒性	各成分は区分外とするデータがある又は十分なデータがない為、本製品は分類できない。
特定標的臓器毒性(単回暴露)	いずれの成分もヒトでの呼吸器刺激の情報があるので本製品は区分3(気道刺激性)とした。
特定標的臓器毒性(反復暴露)	いずれの成分も十分なデータがなく分類できない。
誤えん有害性	いずれの成分も十分なデータがなく分類できない。
12. 環境影響情報	
生態毒性	短期 : (急性) 甲殻類(オオミジンコ)の48時間LC50値で、NaHSO ₃ は119000 µg/L (AQUIRE、2003)から区分外であるが、Na ₂ S ₂ O ₅ は88.76mg/L (SIDS、2004)から区分3となり、本製品は区分3とした。 長期 : (慢性) NaHSO ₃ は難水溶性でなく(水溶解度=540g/L (IUCLID、2000))急性毒性が低いが、Na ₂ S ₂ O ₅ は生物蓄積性は低いと推定されるものの、水中での挙動は環境条件により異なり予測し難いため、区分3とした。
残留性・分解性	該当情報なし。
生体蓄積性	該当情報なし。
土壌中の移動性	該当情報なし。
オゾン層への有害性	混合物として、又いずれの成分もモンリオール議定書の附属書に列記されていない。(GHS分類: 分類できない)
13. 廃棄上の注意	
化学品、汚染容器及び包装の安全でかつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報	産業廃棄物処理認定業者に委託して処理する。
14. 輸送上の注意	
国連番号	3260
品名(国連輸送名)	その他の腐食性物質(無機物, 固体, 酸性のもの)
国連分類	クラス8
容器等級	III
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実に行う。
国内規制がある場合の規制情報	
陸上輸送	消防法の規定に従う。
海上輸送	船舶安全法の規定に従う。
航空輸送	航空法の規定に従う。
応急措置指針番号	154
15. 適用法令	
化学物質管理促進法(PRTR法)	指定化学物質に該当しない。
毒物及び劇物取締法	毒物及び劇物に該当しない。
労働安全衛生法	名称等を表示又は通知すべき危険物及び有害物(第57条・施行令18条、第57条の2・施行令18条の2)[亜硫酸水素ナトリウム][二亜硫酸ナトリウム] 危険性又は有害性を調査すべき物[亜硫酸水素ナトリウム][二亜硫酸ナトリウム]
消防法	危険物に該当しない。
船舶安全法	腐食性物質(危規則第2条危険物告示別表)
航空法	腐食性物質(施行規則第194条)
16. その他の情報	
参考文献	職場の安全サイト(厚労省HP) 16615の化学商品(化学工業日報社) NITE-CHRIP(製品評価技術基盤機構HP)

記載内容のうち、含有量、物理／化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報 データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。